

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												結核	Epidemiol Infect 2006; 134: 1068-1073	ニュージーランドにおけるMycobacterium bovisの動物からヒトへの伝播について調べた。1995年から2002年の間のヒト結核症例について疫学的、臨床検査学的調査を行ったところ、結核確定例1997例中54例(2.7%)がM. bovisで、10万人中0.2の割合であった。ヒトからのM. bovis単離体と動物からの単離体を制限酵素法で比較したところ、ヒト単離体の61%が動物の単離体と同一のパターンを示した。
8	2006/11/13	68043	株式会社メディコスヒラタ	旧)滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 新)ヘパリン使用中心静脈用カテーテルイントロドューサーキット 旧)滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル 新)ヘパリン使用医薬品投与血管造影用カテーテル 旧)その他のチューブ及びカテーテルの周辺関連器具(カテーテル挿入セット) 新)ヘパリン使用カテーテルイントロドューサー 旧)滅菌済み血管処置用チューブ及びカテーテル 新)ヘパリン使用心臓・中心循環系カテーテルガイドワイヤ ヘパリン使用血管用カテーテルガイドワイヤ	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	旋毛虫症	Helminthologia 2006; 43: 21-26	1999年から2004年の中国におけるブタの旋毛虫症について疫学的調査を行った。血清有病率および屠殺されたブタの旋毛虫感染率は1990年代に比べ、明らかに減少した。これは養豚場や養豚技術の発達などによると考えられる。2000年から2004年に8つの省または自治区でヒトでの旋毛虫症の発生は17件あり、828症例で、11例が死亡した。
9	2006/12/8	68040	川澄化学工業株式会社	ヘパリン使用人工心肺用回路システム	ヘパリン	豚 小腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
10	2006/12/21	68041	フォルテグロメ ディカル株式会社	ヘパリン使用人工心肺用 回路システム	ヘパリン	豚小腸粘膜	イタリア	組成・構 造	無	無	無			
11	2007/1/11	68044	タカラバイオ株式 会社	血球細胞除去用装置	ヒツジ抗体	ヒツジ血液	ノルウェー	組成・構 造	有	無	無	HEV	J Med Virol 2006; 78: 1579- 1583	アルゼンチンでブタの糞からHEV RNAが検出され た。南米で初のブタHEV株同定である。これらの株は 全てジェノタイプ3に属し、アルゼンチンで以前同定さ れたヒトHEV変異株に近かった。また抗HEV抗体の 有無を5つの地方のブタで調べたところ、全ての地方 で検出され、4-58%の陽性率であった。
12	2007/1/11	68045	タカラバイオ株式 会社	血球細胞除去用装置	マウス抗体	マウス脾細 胞由来のハ イブリドー マの細胞培養 液	米国	組成・構 造	有	無	無	ハンタウイ ルス	Ann Emerg Med 2006; 48: 593- 594	1993年にハンタウイルス肺症候群が認知されて以 来、2006年5月10日までに、CDCは30州から報告さ れた438症例を確定し、そのうち154例が死亡した。 2006年1月から3月の間にArizona州など5つの州から 9例が報告されており、2006年はヒトのハンタウイル ス感染の危険性が増加していることを示唆する。 CDCはげっ歯類から疾病の感染を防ぐためのキャン ペーンを行っている。
13	2007/1/11	68046	タカラバイオ株式 会社	血球細胞除去用装置	ヒト血清ア ルブミン	ヒト血液	米国	組成・構 造	無	無	無			
14	2007/1/17	68047	日本シャーウッド 株式会社	ヘパリン使用中心静脈用 カテーテル	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	製造工 程	無	無	無			
15	2007/1/23	68048	エドワーズライフ サイエンス株式会 社	ウマ心膜パッチ	ウマ心のう 膜	ウマ心のう 膜	米国	組成・構 造	有	無	無	炭疽	カナダ Saskatchewan州 農業食品局 2006年8月7日	カナダSaskatchewan州で家畜の炭疽感染が拡大し ている。CFIAによると2006年7月25日現在、59施設で ウシ273頭が死亡した。洪水、過度の湿気、干ばつで 土中の芽胞が表面に露出したことが炭疽のアウトブ レイクの原因と考えられる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
16	2007/1/31	68049	生化学工業株式会社	ブタ歯胚組織使用歯周組織再生用材料	エナメルマトリックスデリバティブ	幼若ブタの歯胚	スウェーデン	組成・構造	有	無	無	インフルエンザ	J Virol 2006; 80: 5092-5096	米国で2004年に咳のあるブタから新規の再集合体H3N1ブタインフルエンザウイルス(SIV) (A/Swine/Minnesota/00395/2004)が同定され、系統学的分析の結果、ヘマグルチニンは現代型クラスターIII H3N2 SIVのそれに類似し、ノイラミニダーゼ配列は現代型H1N1起源であった。内在遺伝子はブタ、ヒトおよびトリのインフルエンザウイルス起源であり、現代型米国クラスターIII H3N2 SIVに類似していた。SIVの間で再集合体が生じている更なる証拠である。
17	2007/2/5	68050	東洋紡績株式会社	滅菌済み開心術用チューブ及びカテーテル膜型人工肺補助循環装置	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2006年8月8日	中国におけるトリインフルエンザの状況 (update 13) : 2006年8月8日に中国衛生省は、2003年11月に遼りH5N1トリインフルエンザウイルスによるヒト感染症例をレトロスペクティブに確認した。症例はBeijingを拠点とする軍人の24才男性で、2003年11月25日に発症し、重症呼吸器疾患で12月3日に死亡した。本症例の確認により、中国本土における最初のH5N1ヒト感染事例が明らかとなり、現在のアウトブレイクにおいて最初に確認された症例となる。
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20061225.3605	2006年12月24日、韓国South Chungchong地方Asanで発生したトリインフルエンザのアウトブレイクで、ブタ4000頭およびニワトリ2000羽以上が処分された。2006年12月23日、エジプトGharbiaのヒト検体がトリインフルエンザウイルス陽性であった。同国で18例目のヒト陽性例である。
												感染	OIE Disease Information 19(38) 2006年9月21日	中国のブタにおける「ブタ高熱病」、報告日2006年9月12日。2006年6月末以降、中国の6つの省で、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とする疾患で死亡した。調査の結果、古典的ブタ熱、ブタ生殖器および呼吸器症候群、ならびにブタサーコウイルスの混合感染に関連する事が明らかとなった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												感染	ProMED-mail20061129.3387	2006年の秋に中国に旅行した英国の獣医師によると、「ブタ熱」は中国の養豚業界に拡大している。ブタ生殖器および呼吸器症候群、ブタサーコウイルス2型および他の疾患を含めて、今年の「ブタ熱」アウトブレイクは中国の養豚場を席卷し、100万頭以上の被害が出た。
												感染	ProMED-mail20060903.2508	中国南部で最近発生したブタの病気に対して、農業省は2006年8月31日に通知を出し、生産者や屠殺場での検査の強化、病気のブタを屠殺しない、食べない、売らない、輸送しない、ならびに安全に処分することを命令した。2006年6月末以降、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とするブタの病気が発生している。
												口蹄疫	OIE Disease Information 19(32) 2006年8月10日	中国における口蹄疫のFollow-up report No. 10 (2006年7月29日から8月7日まで)。病因の同定-口蹄疫ウイルスセロタイプアジア1。新規アウトブレイクの詳細-Gansu省Huining郡。ウシ疑い例286例、症例230例、処分286例。ヒツジ/ヤギ疑い例139例、処分139例。ブタ疑い例182例、処分182例。
18	2007/2/7	68051	泉工医科工業株式会社	人工心肺用血液回路膜型人工肺 人工心肺装置の付属品 ヘパリン使用人工心肺用除泡器	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国	製造工程	有	無	無	旋毛虫症	ProMED-mail20060719.1983	米国メリーランド州農業局はCarroll郡のブタ2頭が旋毛虫症陽性であったことを受け、旋毛虫症の拡大を懸念している。これらのブタの農場主とその息子は無許可で屠殺場を営業していた罪などで逮捕された。その農場では死んだ動物が積み重ねられ、生ゴミを餌としており、栄養失調のブタが旋毛虫症陽性であった。この農場から逃げたと思われるブタ3頭も旋毛虫症陽性であることが確認された。
19	2007/2/19	68052	平和物産株式会社	人工心肺用血液回路	ヘパリン	豚小腸	イタリア	組成・構造	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
20	2007/2/22	68053	ニプロ株式会社	ヘパリン使用体内植込み用カテーテル ヘパリン使用長期的使用注入用植込みポート ヘパリン使用中心静脈用カテーテルイントロデューサキット ヘパリン使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル ヘパリン使用体外式膜型人工肺	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	細菌感染	Lett Appl Microbiol 2006; 43: 424-429	ブタから分離されたBisgaard taxon42が、今までウマからのみ分離されている[Pasteurella] caballiであるかを調べた。3大陸の5つの国のウマ[P.] caballiと比較したところ、表現型の特徴は差がなく、リボタイピングとパターン分析、16S rRNA配列、DNA-DNAハイブリダイゼーションの結果、taxon 42は[P.] caballiに属することが確定した。[P.] caballiはウマだけでなく、ブタも感染源になる可能性がある。
												旋毛虫症	Aota Tropica 2006; 97: 247-251	2000-2003年に中国の6つの省または自治区においてヒトでの旋毛虫感染の血清疫学的調査を行ったところ、血清学的有病率は3.57%であった。同期間に8つの省または自治区で17件のアウトブレイクがあり、828症例と11例の死亡が記録された。死亡例の全てが肉の生食を習慣とする南西部で発生した。豚肉が主な感染源であるが、イヌ、イノシシ、クマの肉も感染源となっている。住民に生肉を食べないように指導することが旋毛虫減少に有効である。
												インフルエンザ	ProMED-mail20070108.0077	米国アイオワ州東部でブタインフルエンザ陽性患者1例が確定された。州当局は警戒の必要はないとしている。患者は入院せずに回復した。ヒトからヒトへの感染の証拠はなかった。このウイルスはヒトに感染しにくく、ヒトはかなり抵抗性を持っている。
												HEV	J Infect Dis 2006; 193: 1643-1649	IV型HEVについてヒトとブタ宿主との関係を調べるため、各々のウイルス保有率およびウイルスの遺伝的性質を調べ、また養豚場と感染のリスクとの関係を評価した。中国東部の2つの養豚地区では、ブタ9.6%、健常人0.3%で大便中からHEVが検出され、IV型サブタイプ2つが両者に共通していた。養豚に従事するヒトは他の職業のヒトより感染リスクが74%高く、養豚場の下流の住民は上流の住民より感染リスクが29%高かった。IV型HEVはブタからヒトへ自由に感染すると考えられる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
21	2007/2/22	68054	ガンプロ株式会社	ヘパリン使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル	ヘパリンナトリウム	豚腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	鳥インフルエンザ	国立感染症研究所感染症情報センター 2007年1月11日	2007年1月10日付けWHO更新情報によると、中国保健省はH5N1鳥インフルエンザウイルスによるヒト感染症例を確認した。安徽省在住の37歳男性で、2006年12月10日に発症し、17日に入院した。患者は1月6日に退院し、回復しつつある。感染源として病鳥への暴露の可能性に関する調査が行われている。密接接触者は医学的監視下に置かれていたが、全員健康であり、12月29日に解除された。
22	2007/3/1	68055	株式会社ジェイ・エム・エス	ヘパリン使用人工心肺用回路システム ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用チューブ接続用コネクタ ヘパリン使用単回使用人工心肺用熱交換器 ヘパリン使用体外式膜型人工肺 ヘパリン使用心臓血管縫合補助具 ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用人工心肺用回路システム ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ	ヘパリン	ブタ腸管粘膜	スペイン	組成・構造	有	無	無	レンサ球菌感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 914-920	2005年7月中旬から8月末の間に中国四川省で215例のヒト連鎖球菌感染が報告され、うち66例は確定例であった。全ての感染例は、原因不明で死んだブタや病気のために食用になったブタを屠殺する過程で暴露した農業従事者で発生した。61例(28%)が連鎖球菌毒素ショック症候群を呈し、うち38例(62%)が死亡した。その他、敗血症(24%)と髄膜炎(48%)または両者であった。単離された全ての菌はtuf、種特異的16S rRNA、cps2J、mrp、ef、およびstyIに対する遺伝子に陽性で、単一の株であった。
												HEV	厚生労働科学研究費補助金 本邦に於けるE型肝炎の診断・予防・疫学に関する研究班 平成17年度分担研究報告書: 44-46	ELISA法によるIgAクラス抗HEV抗体測定系は顕性HEV感染例のみならず、不顕性HEV感染例でもIgMクラス抗HEV抗体測定系よりも優れていた。飼育ブタと野生イノシシでのHEV感染状況を全国で調査し、感染実態を明らかにするとともに、遺伝子配列に多様性を示すHEV株を分離した。また北海道のE型肝炎患者を対象とした分子疫学的調査研究を行った。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												インフルエンザ	内科 2006; 98: 865-871	すべてのインフルエンザウイルスの起源は鳥、とくに水鳥が保有する鳥インフルエンザにある。鳥インフルエンザウイルスが変異を起こして、ヒトが優勢にもつインフルエンザウイルスに対するレセプターを認識する鳥インフルエンザウイルスが出現した場合、ヒトにパンデミックを起こす新型インフルエンザの原因ウイルスになる可能性がある。
												感染	ProMED-mail20070114.0185	中国Xian農業局は2007年1月4日に「ブタ高熱病」は制圧されたと発表した。この病気は人畜共通ではない。ブタ5866頭に発生し(発生率43.7%)、2390頭が死亡した(致死率17.8%)。
23	2007/3/6	68056	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	ヘパリン使用サーモダイリューション用カテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	米国、中国、及びカナダ	組成・構造	有	無	無	インフルエンザ	CURRENT THERAPY 2006; 24: 1023-1026	渡りガモはすべてのヘマグルチニンとノイラミニダーゼ垂型のウイルスの自然宿主である。カモは夏に北方の営巣湖沼でウイルスに水系経口感染し、結腸の上皮細胞で増殖したウイルスを糞便とともに排泄する。ヒトのウイルスとカモのウイルスがブタに同時感染すると両ウイルスの遺伝子再集合体が生じる。その中でHA遺伝子を持ちヒトに伝播したものが新型ウイルスである。
												インフルエンザ	J Infect Dis 2006; 194: S77-81	インフルエンザパンデミック準備計画はヒトの罹患と経済および社会への負の効果を軽減するために重要である。CDCはいつ、どこでアウトブレイクが起ころうと迅速、効果的で成功する対策を保証するために活動している。戦略的計画に対する内容は季節的インフルエンザの経験と過去のインフルエンザパンデミックに関する知見に基づいている。公衆衛生学的観点からはワクチン、抗ウイルス薬、医療品、封じ込め、コミュニケーションによる救命に焦点を当てた地域から地球レベルまでのネットワークの構築が必要である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
24	2007/3/9	68057	ユニチカ株式会社	ウロキナーゼ使用中心静脈用カテーテル ウロキナーゼ使用 緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル ウロキナーゼ使用胸部排液用チューブ ウロキナーゼ使用オブチュレータ	ウロキナーゼ	人尿	中華人民共和国	組成・構造	無	無	無			
25	2007/3/13	68058	株式会社ウベ循環研	ヘパリン使用人工心肺用回路システム	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国	組成・構造	無	無	無			
26	2007/3/16	68059	東レ株式会社	植込み型医薬品注入器 滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル その他の外科・整形外科用手術材料(涙液・涙道シリコンチューブ) 滅菌済み体内植込みチューブ及びカテーテル 合成樹脂製人工血管	ヘパリンナトリウム	豚腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無	無	無			
27	2007/3/22	68060	日本シャーウッド株式会社	ウロキナーゼ使用中心静脈用カテーテル ウロキナーゼ使用胸部排液用チューブ ウロキナーゼ使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル	ウロキナーゼ	ヒト尿	中華人民共和国	製造工程	無	無	無			